

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
芸術	美術 I	2	1年全科	(選択) 必修	美術 1 (光村)	

学習目標	美術の幅広い創造活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を伸ばす。
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。美術文化の知識や技法の知識を理解している。
	「思考・判断・表現」 造形的な良さや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識を持って美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができる。
	「主体的に学習に取り組む態度」 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組む、生涯にわたり美術を愛好する心情を持ち、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造しようとしている。
評価の方法	「知識・技能」 机間巡視による観察・作品
	「思考・判断・表現」 机間巡視による観察・ワークシート・提出物
	「主体的に学習に取り組む態度」 机間巡視による観察・ワークシート・提出物・プレゼンの取り組み

学期	学習計画および内容
1 学期	デザイン: ロゴマーク制作に取り組み、オリジナルのデザインを自分なりに表現する。 実在するデザインの工夫を読み取り自身の制作活動に活かす。
	鑑賞: 小テストを通して、美術史に影響を与えた作品を鑑賞する。 日本及び諸外国の美術文化の相違性或共通性に気づき、それぞれの良さや工夫を味わう。
2 学期	絵画・彫刻: モダンテクニックを習得し、テーマに沿った絵画表現に取り組む。 技法を効果的に表し、自分なりの工夫やこだわりを持つ。
	作品や美術文化などの鑑賞: 日本及び諸外国の芸術活動に目を向け、現代に活躍する作家から現代における芸術の意義を学び、視野を大きく広げる。
3 学期	映像メディア表現: タブレットを用いてオリジナルのストップモーションアニメを制作する。 効果音や字幕などを効果的に表現し、映像編集の技術を学ぶ。

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	<ul style="list-style-type: none"> ・教材費として2000円必要となる。 ・クラスの状況によっては学習計画及び内容が変更となる場合がある。
---------------------------	--